

④能登＝羽田路線

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・能登地域は、著しく人口減少・過疎化が進行している。また、主要産業に乏しく、労働就業率が53.5%と低い等から、地域活性化のためには観光・交流人口の拡大が不可欠であり、航空需要による交流人口確保が必要。 ・就航以来10年間、県・市町・経済界等が一体となってあらゆる利用促進に取り組んでおり、航空会社との間で設定した目標搭乗率を達成し、路線を維持しているものの、今後本格化する人口減少等の地域課題に対応した利用者確保策の確立が急務となっている。
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・従来型の利用促進により下支えを図りつつ、昨今の人口減少等に起因する利用者数の減少分を補填させる。 ・利用者数の底上げを図るため、地域課題に対応した取組として、新たな航空利用目的の創造の視点から「社会活動型観光プログラムによる新たな航空利用目的の創造」、人口集積エリアからの誘客の視点から「二次交通による域内の主要観光地との連携」を行う。
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・能登地域の人口減少、北陸新幹線開業による航空分担率低下低下という大きな環境変化の中、本プロジェクトを通じた新たな航空利用の創造に取り組み、北陸新幹線開業で大きく増えた観光客を能登に誘引するなど、一定の成果をあげることが出来た。 ・本プログラムによる搭乗率のプラス分もあり、能登＝羽田便の目標搭乗率を達成し続け、2便体制を維持することが出来ている。
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・能登＝羽田路線はこれまでも地域を挙げて利用促進に取り組んできたが、各取組を通して、体験ツアー受入機関や首都圏以外の旅行会社など、新たな連携体制の構築に加え、地域との連携が更に拡大した。 ・取組開始時点から実施体制が構築されており、また、課題に対する取組の方針が明確となっていたことは評価できる。1年目から方針にブレがなかったことから、2年目、3年目にPDCAにより微修正することで、うまく機能している良例である。